

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	工学基礎演習第二		
英文授業科目名	Engineering Fundamentals II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	尾関 之康		
居室	東6-534		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yozeiki@pc.*****	

<b>【主題および達成目標】</b>
工学基礎演習第1の内容で習得不十分な点を復讐するとともに、工学基礎としての数学を、特に力学や電磁気学との関連を重視した演習を通して身につける。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学第1、工学基礎演習第1

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
同上

<b>【教科書等】</b>
力学第1の教科書「なーるほど!の力学」を参照する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
次の各項目について、毎回問題を配布し解説する。 次回にレポートを提出すると共に、理解度を計るための小テストを行う。
(1)ベクトル演算 (2)直交座標系の運動方程式 (3)2階線型微分方程式(自由落下、単振動、減衰振動等) (4)テイラー展開 (5)平面極座標での運動方程式

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

(6)仕事とポテンシャル  
(7)角運動量

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：  
毎回の小テスト、毎回提出されるレポート、期末試験を、  
次のように総合評価する。

レポート+小テスト 60%  
期末試験 40%

(b)評価基準：  
単位取得には、上記評価法により60%以上の得点が必要。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。

### 【学生へのメッセージ】

毎回出席しましょう。

講義を理解するためには、自分で問題を解いてみるのが重要です。  
そのためには、考え方を理解し、計算ができなければなりません。

### 【その他】

なし